

令和6年度事業方針

2024年度、社会福祉法人室蘭言泉学園は、役職員300人体制をもって13ヶ所の事業所で30事業に取り組む法人として「誇れる事業」「誇れる職場」「誇れる法人」の実現を目指し、地域の福祉に貢献する社会福祉事業を推進してまいります。

今年は年明け早々に大きな災害、事故が発生し、未だに復旧・復興に向けて多くの方が力を尽くしております。法人でも災害時の備蓄品の提供に加え、現地に職員を派遣し復旧・復興の一翼を担うことにいたしました。また、新型コロナウイルスも5類に移行したとは言え、まだ、油断のできない状況でもあります。

そういうなかで、今年度は第5次中期事業計画の中間年になりますので、モニタリングと最終年に向けての計画調整が加わります。

また、今年度は新しいことの挑戦に種々、取り組みます。4月から室蘭市発達支援センター「あいくる」の事業を当法人が受け継いで運営します。室蘭市の霊園・墓地の草刈り事業も請け負うことになります。昨年、導入した椎茸栽培の菌床を製造する機械を稼働させ、収益の大幅アップに向けた事業にも取り組みます。

コミュニティプラザ構想（活動センター等の新築移転）の着工の可否が今年度5月には分かり、申請が通りますと更に繁忙を極めることになりそうです。グループホーム、短期入所事業所の整備事業にも応募し、地域の利用ニーズに応えます。

加えて、雪かきボランティアは67名の方が賛同されて、すでに今冬は地域からの要請に応え15回出動し延43名の職員ボランティアの方が、業務の合間を縫って雪かきに精を出しております。法人事業による社会貢献のみならず職員個人としてボランティア活動に参加する温かい行為に心から敬意を表しております。

一方、児童養護施設は昨年50周年を迎えたことをバネにして、今年度から子ども集団の活性化を狙い商工会議所と連携し、eスポーツにチャレンジします。活動センターは20周年の節目を迎え改めて、その存在を振り返り、更なる一步を踏み出さず覚悟が求められています。

これらの、計画・目標の達成にはPDCAをしっかりと回すことが必須になります。しっかりと回すことの条件に数値化は欠くことができませんが、しっかりと数値化することでモニタリング、評価、改善につなげ全てを成功裏に導きたいと思っております。

今年度も全職員力を合わせて法人事業の成長に寄与することを期待し、今年度の事業方針とします。